

神苑に喜ぶ生命競いつつ

先の白梅後の紅梅

令和五年三月七日

大中臣正比呂



高原の春は少し遅い。境内横の庭に咲く梅は、先に白梅が満開になった。  
そして、もうすぐ紅梅の蕾みが開く。

春になり、待ちに待った右大臣に任官した藤原仲平の、喜びの歌もある。

遅く疾くつひに咲きける梅の花

誰が植ゑおきし種にかあるらん